

事業名称	北斎交流：北斎を通じた国際交流事業		
実行委員会	北斎交流実行委員会		
中核館	すみだ北斎美術館		
	住所	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2	
	TEL	03-6658-8991	FAX 03-6658-8992
	ホームページ	http://hokusai-museum.jp/	
構成団体	公益財団法人墨田区文化振興財団 墨田区 刀剣博物館 郵政博物館		
事業開始時点の課題分析	<p>すみだで生まれ、生涯の多くを墨田区内で過ごした葛飾北斎。アメリカの『LIFE』誌が1998年に発表した「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」において日本人で唯一選ばれ、昨年夏には大英博物館が「HOKUSAI: Beyond the Great Wave」展(5/25～8/13)を企画するなど、世界的な絵師として高く評価されている。</p> <p>すみだ北斎美術館は2016年11月の開館以来、約1年4ヵ月で49万人を超える来館者を迎え、観覧者の一割ほどが欧米を中心とする外国人で占められている。また海外の美術館や在日文化機関等からは「北斎」を手掛かりとした交流事業に対する要望が寄せられているが、それらを具体的に推進する機会を設けられていないのが現状である。「北斎」が世界とすみだをつなぐコンテンツであることを地域が認識し、シビックプライドを高めていくとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、「北斎」及び「すみだ」の魅力を内外に発信する事業の実現と担い手の育成が、当館ならびに地域にとって重要なテーマとなっている。</p>		
事業目的	<p>すみだ北斎美術館は「成長する美術館」を運営コンセプトに掲げている。北斎や門人の作品を収集・保管し、展覧会や教育普及活動を通じて北斎とすみだの関わりを掘り下げるとともに、北斎に関する情報を広く発信することで国内外からの誘客を図り、地域活性に貢献する。さらに美術館を核として、区民等が主体的に地域で行う文化芸術活動を支援することで、創造的なコミュニティの形成を促すことが大きな目的である。</p> <p>そのためには、江戸文化が花開いた隅田川左岸、両国界隈を中心とする地域の歴史や個性を踏まえたコミュニティ・プログラムを行いつつ、「北斎」を通じて世界各地とのインターローカルな関係性を培っていく必要がある。北斎を通じて人々が集い、交わり、新たな創造活動を展開していくことが、「成長する美術館」の目指す方向性と捉えている。</p>		

<p>事業概要</p>	<p>北斎を通じた国内外における交流事業を「北斎交流」と総称する。</p> <p>特に、2020年を契機として国際的な交流を充実させるべく、まずは北斎に関連する海外の美術館や文化機関等との相互連携を図り、世界各都市と「すみだ」を結びつける事業を実施していく。</p> <p>2018年度は、日本との外交樹立100周年を2019年に控えるポーランドの駐日ポーランド広報文化センターと協力し、クラクフにある日本美術技術博物館（Muzeum Sztuki i Techniki Japońskiej “Manggha” / 通称：マンガ館）を交えた事業に着手する。同館に、すみだ北斎美術館の学芸員を派遣し、各種の交流を行うほか、すみだ北斎美術館では、同年のポーランド独立回復100周年を記念する企画を行う。映画監督のアンジェイ・ワイダにより発案され、浮世絵作品を多数所蔵しているマンガ館との交流は、すみだ北斎美術館の今後の事業展開に大きな意義を持つものと考えている。</p>
<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p>■ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p>□イ ユニークベニユアの促進</p> <p>■ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p>□エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p>□ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p>□イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p>□ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p>□エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p>■ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p>□イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>①事業開始時と終了時に検討会議を開催した。開始時においては本事業の有益性を確認し、効果的な実施に向けて意見を交わした。また終了時の会議は学芸員派遣報告も兼ねるものとなり、今後の展開を具体的に考察する有意義なものとなった。</p> <p>②葛飾北斎の専門美術館として、すみだ北斎美術館の学芸員を平成31年2月ポーランドに派遣、現地の美術館・博物館及び北斎研究者等と相互交流を図り、情報交換と調査研究を進めることができた。またその成果を刀剣博物館、郵政博物館と共有し、パネル展示を行ったほか、今後も各館の展覧会や教育普及活動に継続的に反映することが期待できる。</p> <p>③④ポーランド大使館等と連携し、同国が独立回復100周年を祝う世界的な行事として行う「シレジア弦楽四重奏団」によるコンサートを、すみだ北斎美術館で開催した。併せてポーランドとその交流を紹介するパネルを作成しすみだ北斎美術館内に展示、その後地域内の刀剣博物館、郵政博物館においても各館独自情報</p>

	<p>と共に展示、情報発信の強化による訪日外国人の来館の増加と、地域のグローバル化の拠点となることにつなげていく出発点となった。</p> <p>⑤上記コンサートの際に作成された演奏会冊子を一般来館者にも配布、地域においての美術館の独自性をアピールする効果となった。</p> <p>これらの事業により世界的な絵師、葛飾北斎を顕彰する「すみだ北斎美術館」を核として、海外の北斎作品を所蔵する美術館や博物館と「北斎」を手掛かりとするネットワークを構築することができた。博物館・美術館が相互に協力し連携する多彩な事業を展開することで、北斎の国際的な認知度を高めるとともに、北斎が生涯を過ごした「すみだ」への関心を喚起し、すみだ北斎美術館及び地域を訪れる交流人口の増加を促していく足掛かりとすることができた。</p>
--	---

【事業実績】

平成 30 年	8 月 24 日(金)	北斎交流実行委員会準備会
	9 月 26 日(金)	北斎交流実行委員会準備会
	10 月 4 日(木)	北斎交流実行委員会
	11 月 11 日(日)	ポーランド独立回復 100 周年記念コンサート
平成 31 年	2 月 6 日(水)～11 日(月)	教育普及担当学芸員ポーランド派遣
	2 月 26 日(火)～3 月 15 日(金)	刀剣博物館パネル展示
	2 月 26 日(火)～3 月 5 日(火)	郵政博物館パネル展示
	3 月 15 日(金)	北斎交流実行委員会